平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	(仮称)川越市森林公園整備								継続
コード	24	－	62	－	01	－	00	予算事業名	(仮称)森林公園整備
担当部署	都市計画部		公園整備課		公園建設担当			予算事業コード	会計 10 款 08 項 04 目 05

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)　　位置付けなしの場合

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	仮称森林公園整備
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	(仮称)川越市森林公園基本計画
施策	4	水辺と森林の整備		
細施策	3	樹林地の整備	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	都市公園法			

法令による実施義務　義務ではない

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	武蔵野の自然の保全とともに貴重な自然を次世代に引き継ぐため、またこれらを活用することにより、市民に自然とのふれあいの場や緑の中のレクリエーションの場、及び自然環境学習の場を市民に提供する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	市が市民、専門家等の意見を聞きながら、事業に伴う計画の立案、事務手続き等を行い、専門的な業務、委託することが効率的な業務については委託し、(仮称)川越市森公園基本計画に基づき整備を推進する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		3,800	1,500	2,422	1,000	51,500	
(25年度予算額大幅増／減の理由)		森のさんぽ道第二駐車場用地取得及び整備のため					
事業費	A	1,680	1,313	2,069	892	51,500	1,000
人件費	B	1,834	2,201	4,402	5,136	5,136	3,302
総コスト(C＝A＋B)		3,514	3,514	6,471	6,028	56,636	4,302
正規職員(1年間の従事人数)		0.25人	0.30人	0.60人	0.70人	0.70人	0.45人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(＝C－D－E)		3,514	3,514	6,471	6,028	56,636	4,302

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	計画区域内公有地化面積累計	ha	7.5	7.5	7.8	7.8	－	27年度 11.0
	指標の定義・説明		計画区域内公有地化面積の累計(川越市土地開発公社取得地含む)					
成果	「森のさんぽ道」延長	m	4,100	4,100	4,100	4,100	－	年度 －
	指標の定義・説明		「森のさんぽ道」の開設総延長(公道含む)					
活動	計画区域内公有地化面積	㎡	0	0	2,882	0	－	年度 －
	指標の定義・説明		当該年度に公有地化した面積【川越市土地開発公社取得地含む)					
活動	調査、測量及び工事実施件数	件	1	1	2	1	－	年度 －
	指標の定義・説明		当事業で実施した委託及び工事実施件数					
指標に基づく評価			本事業の主たる目的の一つである樹林地の保全のため、相続発生時には相続者との買取協議により、先行しての買収を行うとともに、公有地及び借地した樹林地を利用し、森林浴ができる「森のさんぽ道」の整備などを実施している。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　　課題はない

昨今の財政状況等から勘案すると、事業の進捗を図るためには、他の事業との兼ね合い等を勘案しなければならない。また、効率的な事業手法や用地取得方法についても検討していく必要がある。現在、新たな整備手法等の一つとして、地域制緑地制度の導入を検討しており、地権者に対しアンケート調査を実施し、地権者の意向を踏まえた整備手法等を検討し始めたところである。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

計画区域内において、既に公有化した用地がまばらに点在している状況であり、公有化した用地の有効活用ができなくなる。また、森林公園計画については地権者及び住民等からも大いに期待されていることから、廃止・縮小になった場合は大きな反響があると思われる。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			都市計画部				公園整備課	公園建設担当
事務事業名称			24	62	01	00	（仮称）川越市森林公園整備	
今後３年間の方向性	25年度	継　続	本事業は、着手から長い年月が経ち、一部取得した公有地の有効活用策として「森のさんぽ道」を整備し好評を得ている。平成25年度は駐車場整備を行う計画であるが、公有地化された面積は全体の2割程度であり、事業手法等の見直しが必要となっている。貴重な緑を保全するため、新たな制度の導入を検討し市民にとって有益となる事業展開を進める。					
	26年度	改善（見直し）	新な制度の導入を検討し市民にとって有益となる事業展開を進める必要があることから、昨年度から引き続き検討している。埼玉県の緑のトラスト基金を活用した事業展開を推進する。また、国の緑地保全制度の活用を引き続き検討する。					
	27年度	継　続	新な制度の導入を検討し市民にとって有益となる事業展開を進める必要があることから、昨年度から引き続き検討している。国の緑地保全制度の活用を引き続き検討し事業の推進を図る。					